



# 歯科診療室だより

30号

令和4年9月8日

## 広島県国保診療施設歯科保健研修会

7月22日広島県国保連合会で歯科の研修会を行いました。Webと参集のハイブリッド式がコロナ禍で定着してきました。遠方で研修会に参加できなかった人が参加できるようになった利点があります。

今回の研修会は、東京歯科大学平田創一郎教授により「骨太の方針2022」で示されたいわゆる「国民皆歯科健診」についての講演でした。2017年から「骨太の方針」には歯科健診という言葉が入っていました。歯科健診は、母子保健法や学校保健安全法などの法律により行われてきたことを話されましたがこの「国民皆歯科健診」はまだ何も決まっていないのでこれから検討するとのことでした。



## 口腔機能低下症～その12～

口腔機能低下症のその6で舌口唇運動の低下について説明しました。ベロや唇は毎日動かしているから機能低下することはないと思いませんか？



でも、知らず知らずのうちに少しずつ動きが悪くなっています。特にコロナ禍の今、家から出ることなく一人で過ごしていると話しをする機会も失われ、オーラルフレイル（口の虚弱）になっている人が増えています。フレイルの状態ではまだまだ元に戻ることはできます。

老年歯科医学会では、ベロや唇の動きが悪くならないような対応として以下の三点を挙げています。

●早口言葉や滑舌の練習で舌や唇を素早く動かしましょう。

早口言葉は大きな声ではっきりと

●家族や友達とおしゃべりする機会を増やしましょう。

歌を歌うのもいいです

●唇や頬の力を鍛える器具や笛などを使いましょう。

左の写真の巻きどりやパタカラなどの器具を使って楽



しんで行うのも良いです。

気になる事があればいつでもお気軽に**歯科スタッフ**までご相談ください！

文責 診療部長 占部秀徳